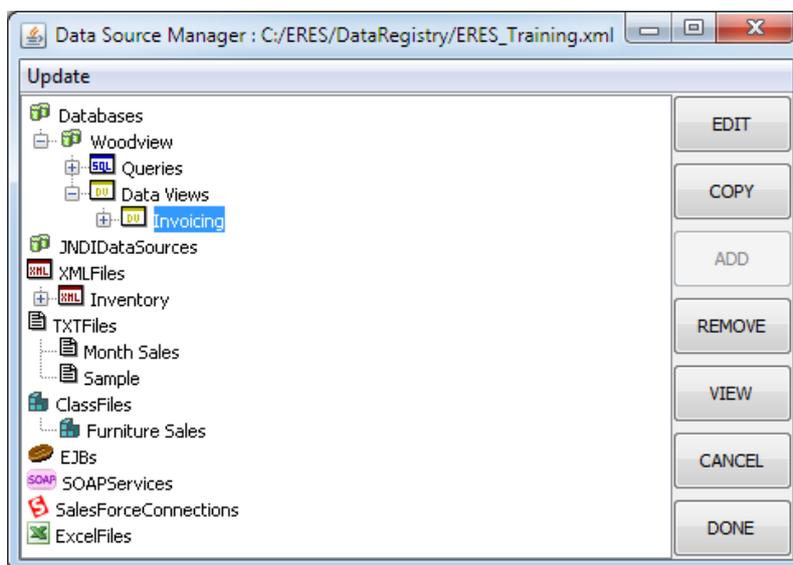


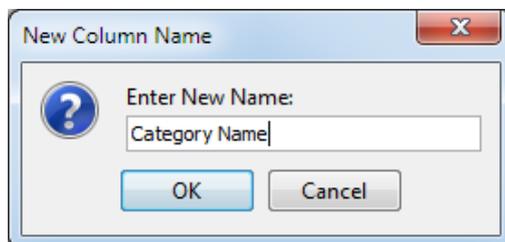
## 実習 45:QuickDesigner によるレポートの作成

### ステップ 1: データビューの変更

- 1.) Organizer の「Manage Data Sources」をクリックし、「ERES\_Training」を選択、「Edit」をクリックします。「Woodview」と「Data Views」ノードを拡張し、「Invoicing」データビューを選択、「Edit」をクリックします。



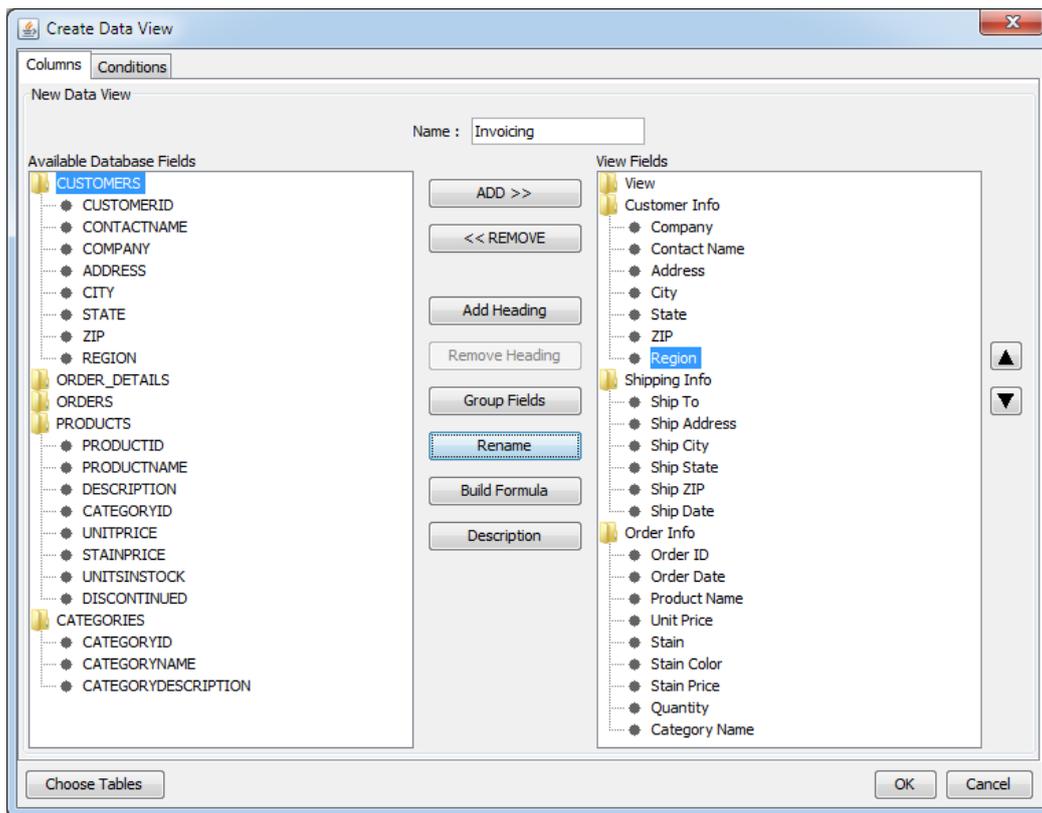
- 2.) 「Choose Tables」をクリックし、「CATEGORIES」テーブルを選択、「ADD>>」をクリックします。
- 3.) 「OK」をクリックし、「Create Data View」ダイアログに戻ります。「CATEGORIES」ノードを拡張し、「Available Database Fields」ツリーを表示します。「CATEGORYNAME」フィールドをダブルクリックします。
- 4.) 先の 3 ステップを繰り返し、「CUSTOMERS」テーブルから「REGION」フィールドを追加します。
- 5.) 「View Fields」から「CATEGORYNAME」フィールドを選択し、「Rename」をクリックします。「Category Name」と入力し、「OK」をクリックします。



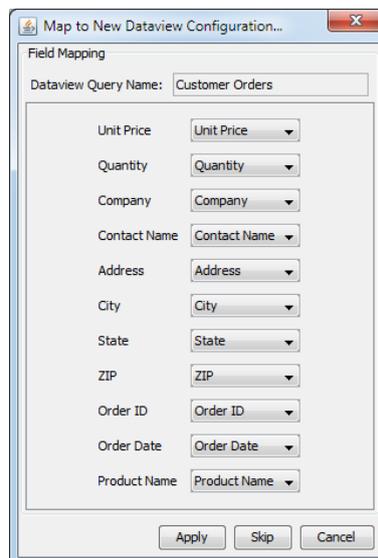
- 6.) ステップ 5 を繰り返し、「REGION」フィールドの名称を「Region」に変更します。
- 7.) 「Category Name」フィールドを選択し、「Group Fields」をクリックします。「Order Info」グループを

選択し「OK」をクリックします。

- ステップ7を繰り返し、「Region」フィールドを「Customer Info」グループに追加します。

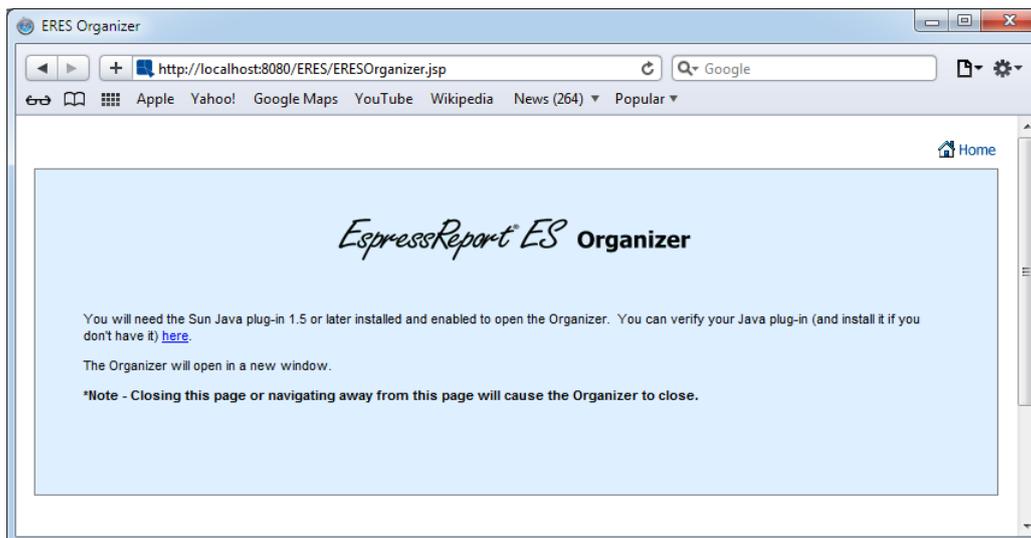


- 「OK」をクリックし、データビューを保存します。全てのクエリがデータビューを使用するために、データの対応付けを更新するダイアログが表示されます。「Apply」をクリックし、現在の対応付けを確認します。



## ステップ 2: QuickDesigner の起動

- 1.) ファイルメニューから「Exit」選択し、Organizer を閉じます。次に Organizer の HTML ページから「Home」をクリックし ERES スタートページに移動します。

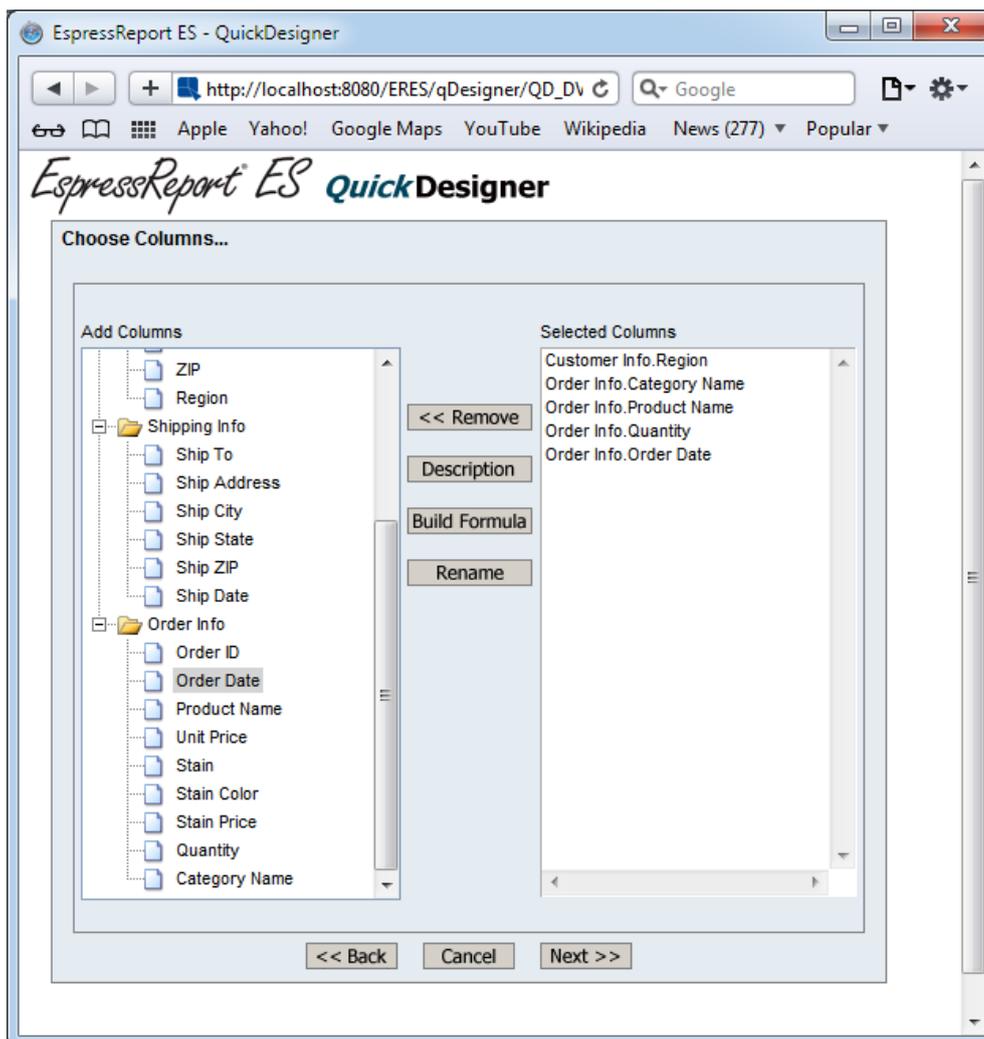


- 2.) スタートページでユーザがログインしていない場合は改めてログインします（セッションの有効期限切れにより、自動的にログアウトします）。
- 3.) 「Design/Run Reports」セクション内の「Launch QuickDesigner」リンクをクリックし、QuickDesigner report ウィザードを開きます。

## ステップ 3: クエリの作成

- 1.) レポートを新規作成するか既存のレポートを開くか選択するダイアログが QuickDesigner の初めのダイアログに表示されます。レポートの新規作成を選択し、「Next」をクリックします。
- 2.) 使用するデータレジストリを選択するダイアログが表示されます。レジストリを選択し、「Next」をクリックします。
- 3.) 次のダイアログではデータレジストリの表現が表示されます。ラジオボタンはレポートで使用するデータソースを選択することを許可します。“Invoicing”データビューを選択し「Next>>」をクリックします。
- 4.) クエリを使用するフィールド を選択するダイアログが表示されます。ダイアログの左側に表示されるフィールドから下記を選択し、「ADD」をクリックします。

Region  
Category Name  
Product Name  
Quantity  
Order Date



- 5.) 「Next>>」をクリックします。
- 6.) “OrderDate”行の「show」オプションの選択を解除します。「Build Formula」をクリックし、フォーミュラビルダーを開きます。
- 7.) “Order Info”ノードを拡張し、“Order Date”フィールドをダブルクリックします。「BETWEEN」をクリックし、「PARAMETER」をクリック、“StartDate”をパラメータ名として入力します。
- 8.) 「AND」をクリックし、再び「PARAMETER」をクリック、“EndDate”をパラメータ名として入力します。フォーミュラの記述結果は次のようになります。

{Order Info.Order Date} BETWEEN :StartDate AND :EndDate

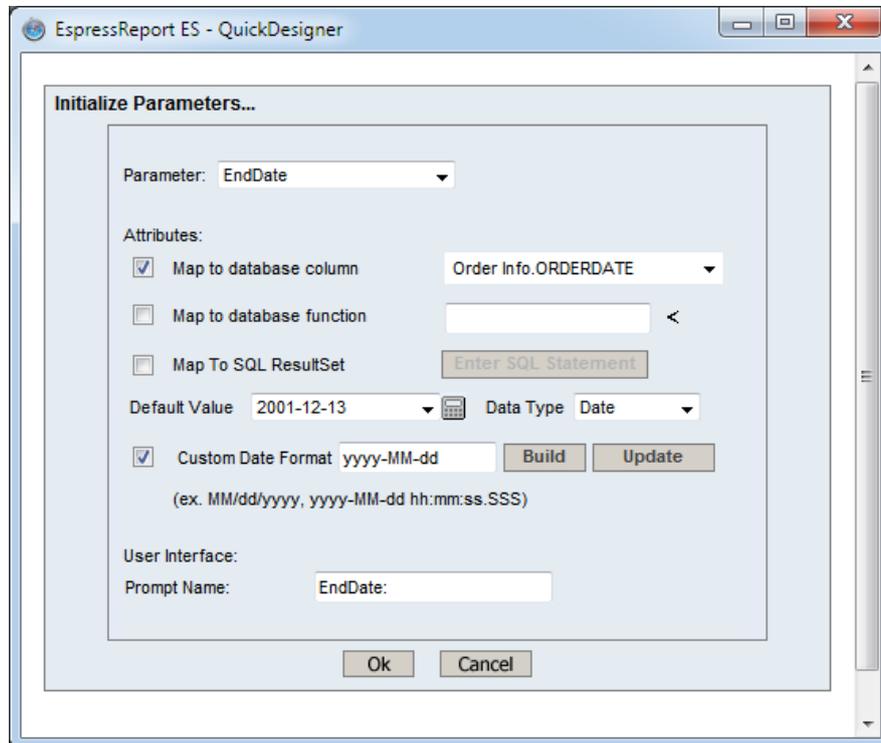
- 9.) 「OK」をクリックし、フォーミュラを保存します。“Region”行の“Condition”フィールドに条件を次のように追加します。

like :Region

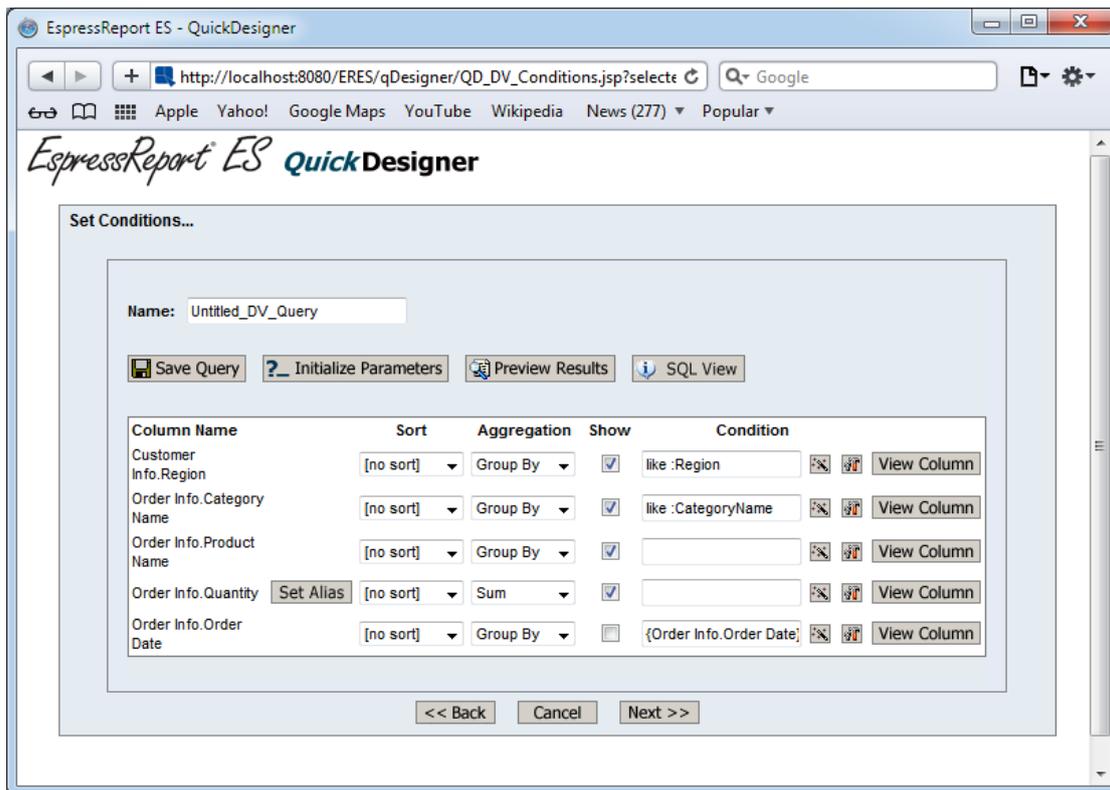
- 10.) “Category Name”行の“Condition”フィールドに次の条件を追加します。

like :CategoryName

- 11.) **Initialize Parameters** をクリックします。“Map to database column”オプションを選択し、“Customer Info.REGION”コラムを選択します。
- 12.) 「Parameter」のドロップダウンメニューから2番目のパラメータ(Category Name)を選択し、“Customer Info.CATEGORYNAME”コラムに対応付けし、「OK」をクリックします。



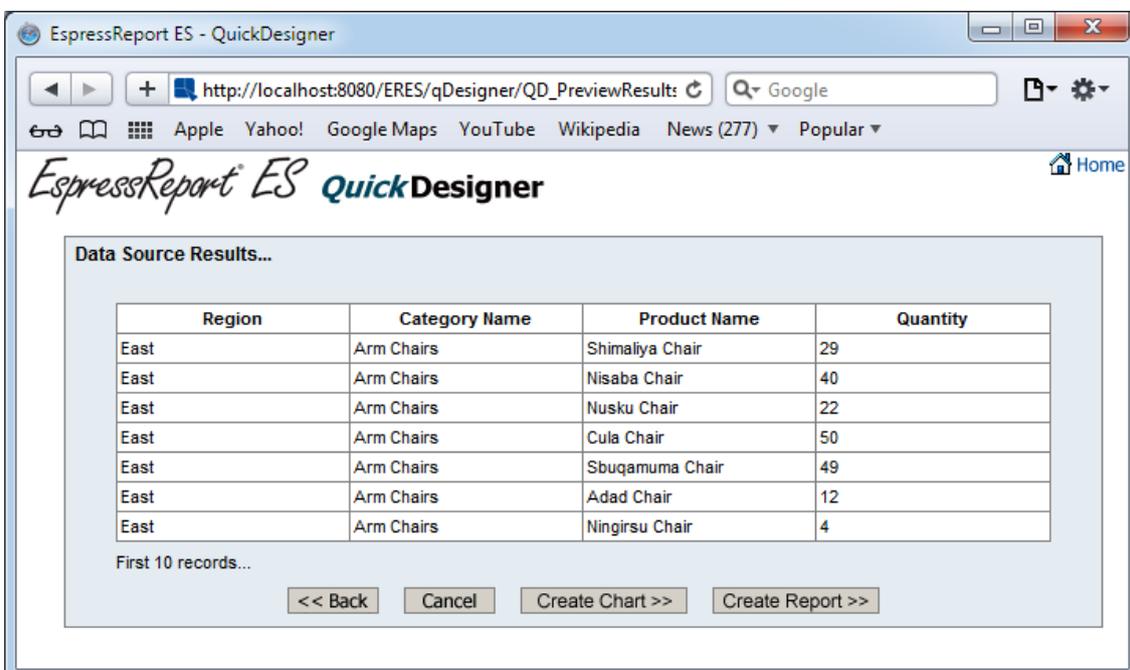
- 13.) 3番目の(StartDate)と4番目の(EndDate)パラメータを“Order Info.ORDERDATE”コラムに対応付けします。
- 14.) 「OK」をクリックします。
- 15.) “Order Info.Quantity”行の“Aggregation”フィールドに“Sum”を設定します。



16.) 「Next>>」をクリックします。

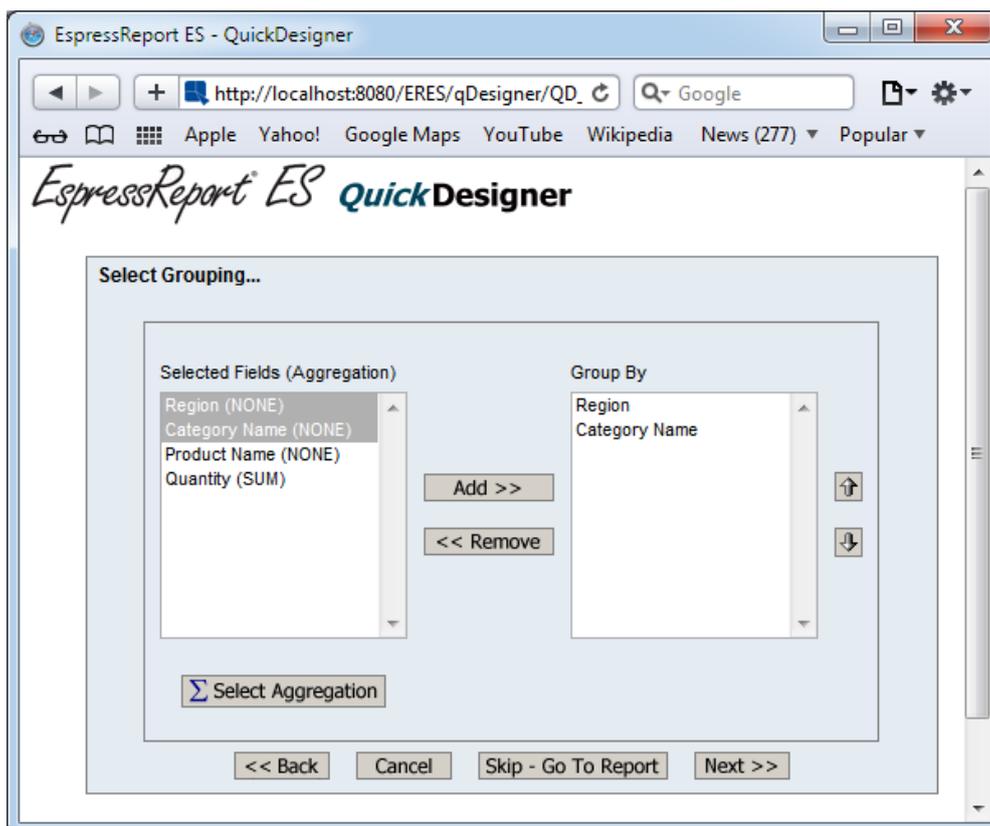
#### ステップ 4: レポートの作成

1.) クエリの結果といくつかのボタンが表示されます。次に進む 2つのボタンの内、「Create Report>>」をクリックします。

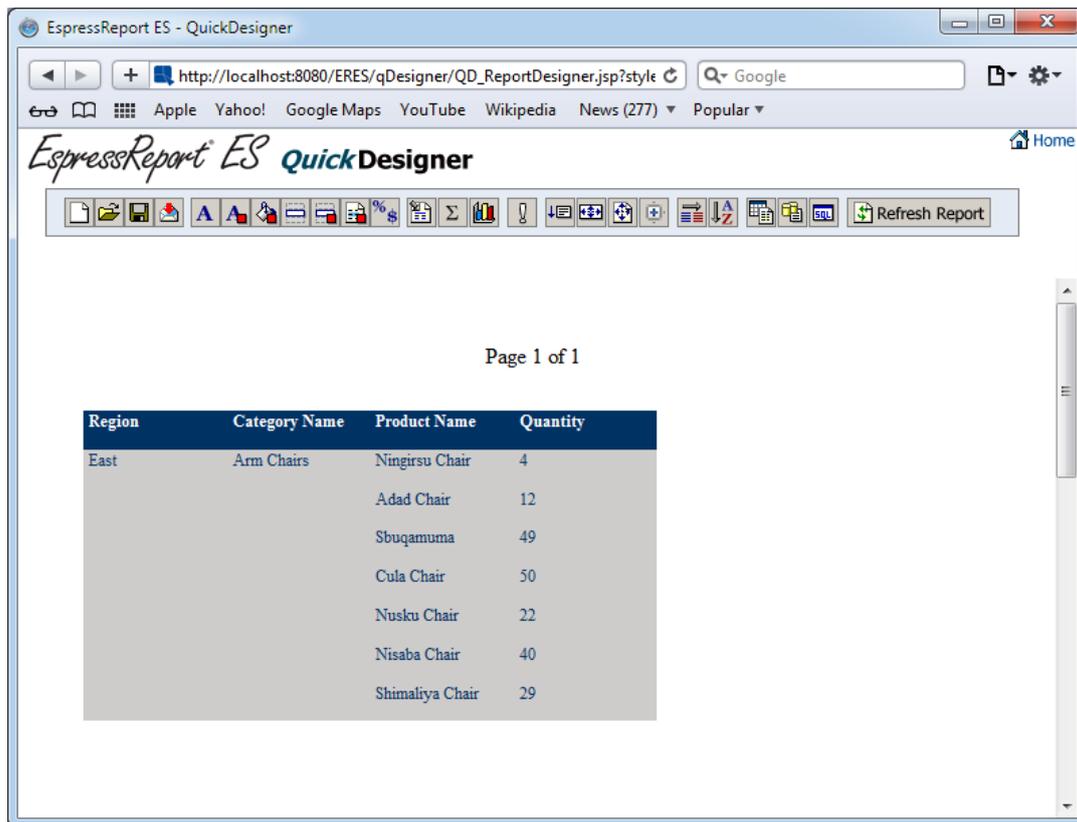


2.) 「Select Grouping」ダイアログで「Region」と「Category Name」を選択し、「Add>>」をクリックし

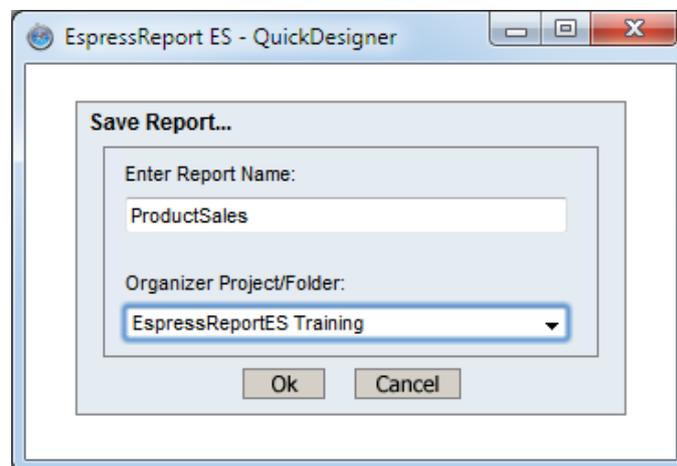
ます。



- 3.) 「Next >>」をクリックし、「Block Left-Align」レポートスタイルを選択、再び「Next >>」をクリックします。「OK」をクリックし初期パラメータ値を使用します。

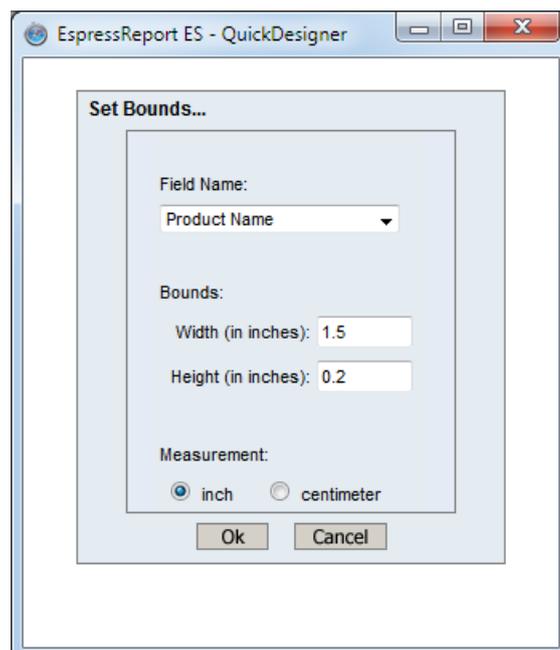


- 4.) 「Save 」をクリックし、レポート名を“ProductSales”と入力し“EspressoReportES Training” Organizer プロジェクトに選択します。「OK」をクリックしレポートを保存します。再び「OK」をクリックし、QuickDesigner に戻ります。

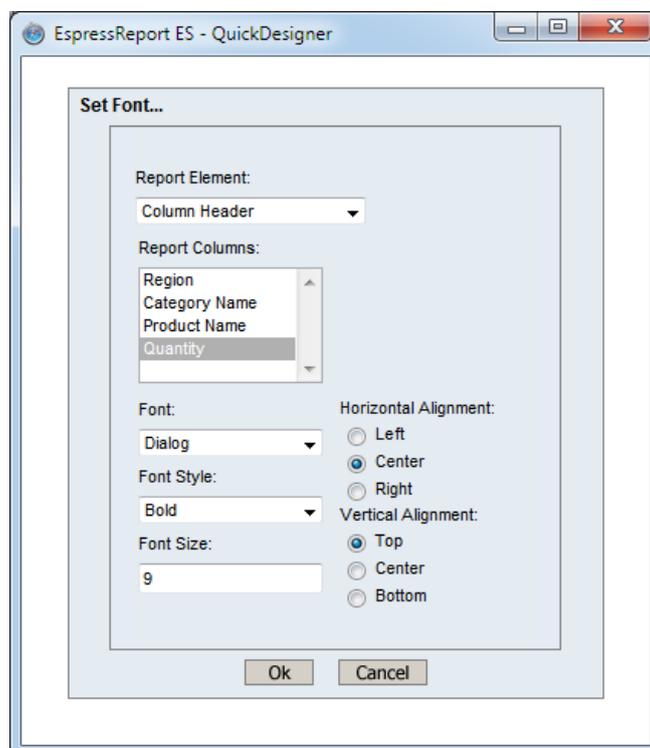


#### ステップ 5: レポートのフォーマット

- 1.) 「Set Element Bounds 」をクリックし、“Region” フィールドの幅を 0.8 インチに設定します。
- 2.) 「Set Bounds」ダイアログを閉じずに、「Field Name」のドロップダウンメニューから“Product Name”を選択し、幅を 1.5 インチに設定します。



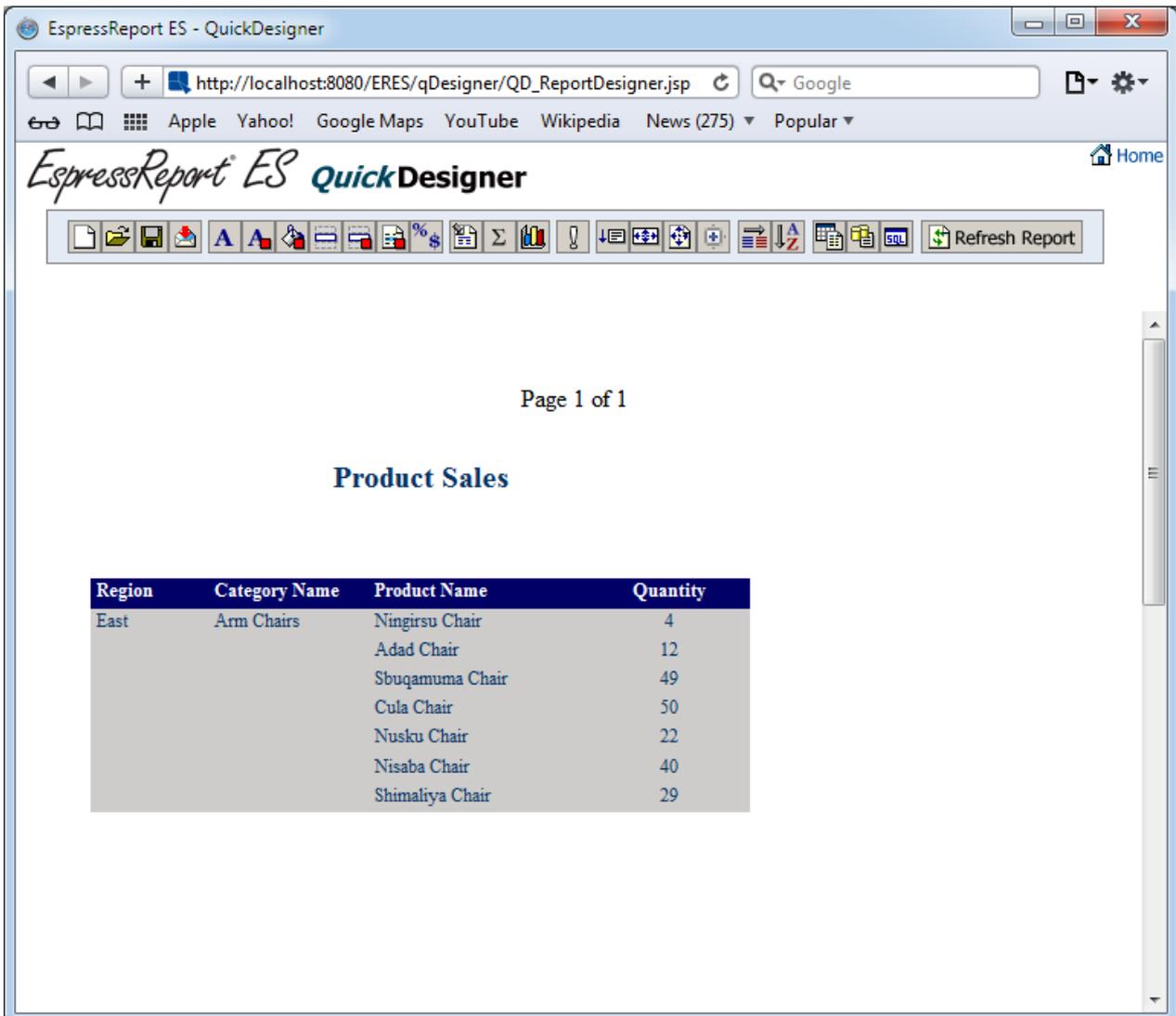
- 3.) 4つのフィールドの高さを0.2インチに設定します。
- 4.) 「OK」をクリックし変更を保存します。
- 5.) 「Font Settings **A**」オプションをクリックし「Report Element」ドロップダウンメニューから「Column Header」オプションを選択します。「Report Columns」リストから「Quantity」コラムを選択し「Horizontal Alignment」を「Center」に変更します。



- 6.) 先の手順を繰り返し、「Quantity」コラムを中央に揃えます（「Report Element」メニューの

「Column」を選択)。「OK」をクリックします。

- 7.) 「Background Color 」をクリックし、「Select Report Element」メニューから「Column Header」オプションを選択します。 実習 26 でコラムの見出しに選択した色と同様の色を背景に選択します。
- 8.) 「Insert Report Elements 」をクリックし、「Add Report Title」オプションを追加、チェックボックスの隣にあるテキストフィールドに「Product Sales」を入力します。「OK」をクリックします。
- 9.) 「Save 」を再びクリックし、「OK」をクリックし、レポートを保存します。



The screenshot shows the EspressoReport ES QuickDesigner web application. The browser address bar displays [http://localhost:8080/ERES/qDesigner/QD\\_ReportDesigner.jsp](http://localhost:8080/ERES/qDesigner/QD_ReportDesigner.jsp). The application title is "EspressoReport ES QuickDesigner". The report content is as follows:

Page 1 of 1

### Product Sales

Region	Category Name	Product Name	Quantity
East	Arm Chairs	Ningirsu Chair	4
		Adad Chair	12
		Sbuqamuma Chair	49
		Cula Chair	50
		Nusku Chair	22
		Nisaba Chair	40
		Shimaliya Chair	29